

## 大阪大学図書館報

Vol. 11, No.3/4 October 1977

## 目次

- |               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| ○図書館利用の思い出    | ○昭和52年度大学図書館職員長期<br>研修に参加して |
| ○図書館委員会委員名簿   |                             |
| ○研究用著者名目録編成さる | ○会 議                        |
| ○教官著作寄贈図書     | ○日 程                        |
| ○本館受入参考図書     | ○人 事                        |

## 図書館利用の思い出

森 田 正 人

昨年秋、友人の広島大学図書館長、鳴海元教授が本館を来訪された。まだ先代の高田館長や宮武部長が御在任中で、業務説明のあと、本館内を御案内されることになり、一緒に見学させて戴き、設備の充実と蔵書の量に驚いた。殊に、珍しい和漢の名著のコレクションは感銘深かった。専門違いの理論物理屋からみても、全く羨やましい限りで、その物理量に圧倒されただけでなく、一冊一冊の本から、著者の人柄や時代の重みが滲みでてくる感じであった。日夜これらの本に埋まって研究を続けられる学者、これらの本の整理に勤しまれる職員の方々は、何という果報者であろうか。

さて、この日がわたくしの本学図書館利用の初日であった。勿論、各種委員会や入試運営で図書館を利用させて戴いたことを別としてである。

顧りみると、大学入学以来図書館を利用した記憶が余りない。大学一年のときは、戦后間も無い頃で、下宿にいるよりは広々とした本郷の中央図書館の方が居心地が良く、足繁く通った。しかし、一番に駆けこんでも、欲しい本は何時もなく、本に関する限り無駄であった。三年の研究室配属では、実験の連中は一人前に研究室に入居できる。理論は部屋が与えられないので、十人も入ると一杯になってしまう小さな物理図書室の閲覧室を占拠するという慣例に倣った。大学院に進んで判明した事だが、研究室では朝早く行った人は椅子に坐り、おくれた人は机に坐るという有様だったためである。しかし図書閲覧室にはともかく冬の間石炭ストーヴがあり、新着雑誌が自由に読めること、書庫にこっそり入って単行本やバック・ナンバーをみるのが黙認されるという利点があった。このような時代だったので、外国雑誌以外は自分で購入せざるを得ず、また日本語の専門書は殆んどないので、原書や海賊版

を探しまわった。この時期に読んだ三、四十冊の本が、結局はその後の研究の土台となっているように思われる。歳をとって計算を忘れても、あの本の何頁をみると、学生のころ自分で考えたやり方が余白に書き込んであるはずという記憶が、再現をたすけてくれる。

その後長い間勤務したニューヨークのコロンビア大学でも、デイト以外で本館を使った記憶はない。しかし東洋文庫は、吉田元首相の寄贈等もあり完備しており、頻繁に利用した。我が国や中国の作家で、学生時代に読み残した分を、埋めることができた。中央公論、改造、文芸春秋なども全部揃っており、著名人が昭和初期、戦中、戦後に何といていたかを調べるのは面白かった。司書に、東洋文学の何を専攻しているかとよく質問された。素粒子論や原子核ですと答えると、理論物理とは閑な学問ですと呆れられた。

この大学の物理図書室で良かったことがいくつかある。重要な雑誌および単行本は必ず一部、貸し出しせずに残してあること、研究者としてのランクが上がると、閉室時間の夜9時以降でも自由に入室できるようキーをくれたこと、わたくしの講義のために参考図書を数冊指定しておく、3部位ずつ室外持出し禁止にして、多くの学生の便宜を図ってくれたこと、などである。

大阪大学のわたくしの教室では、各研究室で専門単行本を保管している。この制度は、わたくし達の研究に全く適しており、十分に読書を楽しんでいる。

他分野でも同じと推測するが、物理の代表的な雑誌フィジカル・レビューは、値段と重量が近年指数的に増加しており、数十年のうちに雑誌の目方が地球より重くなるとされている。京大基研で湯川秀樹先生の助教授を勤めた頃、先生がよく云われたことは、一年間発行を止め（てもっとよく研究す）るという案である。もっと革命的な案も称えられていた。

データ集積の話もしたいが、予定の枚数を越えたので筆を擱きたい。（理学部教授）

### 図 書 館 委 員 会 委 員 名 簿 (52. 9. 22. 現在)

図 書 館 長	山田教授 (文)	工 学 部	◎三川教授	大路教授	
文 学 部	片山教授	当津教授	基礎工学部	坂口教授	須田教授
人 間 科 学 部	田中教授	茅野教授	教 養 部	大塚教授	黒川教授
法 学 部	覚道教授	矢崎教授	微生物病研究所	伊藤教授	中林教授
経 済 学 部	原田教授	渡辺教授	産業科学研究所	松尾教授	三角教授
理 学 部	森田教授	野桜教授	社会経済研究所	鬼木教授	畠中教授
医 学 部	◎吉田教授	大久保教授	蛋白質研究所	成田教授	倉橋教授
医学部附属病院	薮内教授	重松教授	溶接工学研究所	圓城教授	岩本教授
歯 学 部	小谷教授	土谷教授	事 務 局	斎藤局長	
薬 学 部	◎佐々木教授	富田教授	(オブザーバー) 医療技術短大	柏谷教授	小竹教授
言 語 文 化 部	佐藤教授	吉田教授	◎印：分館長		

### 附属図書館 豊中地区運営委員会委員名簿 (52. 9. 22. 現在)

運 営 委 員 長	矢崎教授 (法)	言 語 文 化 部	佐藤教授	吉田教授	
文 学 部	片山教授	当津教授	薬 学 部	佐々木教授	富田教授
人 間 科 学 部	田中教授	茅野教授	基 礎 工 学 部	坂口教授	須田教授

法 学 部	覚道教授	矢崎教授	教 養 部	大塚教授	黒川教授
経 済 学 部	原田教授	渡辺教授	社会経済研究所	鬼木教授	久我教授
理 学 部	森田教授	野桜教授	医療技術短大 (オプジーバー)	柏谷教授	小竹教授

**附属図書館 中之島分館運営委員会委員名** (52. 9. 1. 現在)

分 館 長	吉田教授 (医)	歯 学 部	八木教授	小谷教授
医 学 部	大久保教授	正井教授	微生物病研究所	竹田教授
医学部附属病院	藪内教授	重松教授	蛋白質研究所	成田教授
				倉橋教授

**附属図書館 吹田地区運営委員会委員名簿** (52. 9. 1. 現在)

分 館 長	三川教授 (工)	産業科学研究所	松尾教授	三角教授
工 学 部	大路教授	鈴木教授	溶接工学研究所	圓城教授
				岩本教授

**附属図書館 薬学部分館運営委員会委員名簿** (52. 9. 1. 現在)

分 館 長	佐々木教授	委 員	池原教授	上原教授
委 員	富田教授	岩田教授		

**研究用和書著者名目録編成さる**

研究者等が、著者から、迅速・的確に図書を検索し得るように整備する目的で、昨年、和・洋書の著者名カードの目録編成作業を実施しました。そのうち、研究用洋書著者名目録については、すでに、編成が終わっています。(詳細については、本館報、Vol. 10. No. 5/6 を参照してください。)

研究用和書著者名目録の編成作業は、今年で2年目の継続事業となり、去る7月中旬から8月下旬まで、アルバイト学生を導入して編成作業を終えました。

なお、漢籍の著者名目録(配置図の7)は、別建てとしました。人名の読みが、難解であるため、検索しやすいように姓ごとに見出しカードを作り、そのアルファベット順に排列しました。

この研究用和書著者名目録は、著者、共著者、編者、共編者、被伝者、会議名、団体名…等が含まれています。排列の主なポイントは、次のようになっております。

- ① 標目の読みを、ローマナイズ(ヘボン式)して、アルファベット順に排列。
- ② 字順排列が原則。ただし、姓、名の区別のある個人名は、それぞれを一単位とし、姓によって排列し、次いで名によって排列。また、下部組織を持つ団体名は、機関名と、下部組織をそれぞれ一単位とし、機関名によって、次いで下部組織によって排列。

個人名の例

Abe Genichi  
阿部, 源一  
Ano Haruo  
安部, 治夫  
Abe Hiroshi  
阿部, 洋

団体名の例

Tokyodaigaku Bungakubu  
東京大学, 文学部  
Tokyo Daigaku Uchukoku Kenkyusho  
東京大学, 宇宙航空研究所  
Tokyodaigaku Shuppankai  
東京大学出版会

- ③ 中国語、朝鮮語の著者名は、漢字音読のアルファベット順。
- ④ 外国語の団体名の頭文字・略称は、原綴にもどさなで、そのままの形で排列。  
漢字および仮名書きで書かれたものは、ローマナイズして排列。



### 教官著作寄贈図書

#### —本館—

浜口恵俊 (人・助教授)

「日本らしさ」の再発見

(日本経済新聞社 昭52)

#### —吹田分館—

増淵正美 (工・教授)

自動制御 (機械工学基礎講座17)

(朝倉書店 昭51)

犬石嘉雄 (工・教授)

白藤純嗣 (工・助教授)

半導体物性 I:基礎物性、II:素子と物性  
(基礎物理科学シリーズ 8, 9)

(朝倉書店 昭52)

中川憲治 (工・教授)

工科のための一般力学 (森北出版 昭52)

水谷幸夫 (工・教授)

基礎燃焼学 R.A.ストーリー著、水谷  
幸夫訳 (森北出版 昭52)

#### —薬学部分館—

米田該典 (薬・助手)

第9改正日本薬局方準拠 局方医薬品  
便覧 (第2改稿版) 付編・局方生薬参考  
便覧、高木修造編著 (広川書店 昭52)

岩田平太郎 (薬・教授)

THIAMINE. Ed: Clark J. Gubler  
and others.

(John Wiley & Sons '76)

### 本館受入参考図書

(昭和52年6月~10月)

#### ◇ 総記 ◇

徳川時代出版者出版物集覧 矢島玄亮著

(万葉堂)

日本の古典名著総解説 (自由国民社)

中国の古典名著総解説 ( )

近代中国関係図書分類目録 中国文 東洋

文庫近代中国研究委員会 (東洋文庫)

弘文荘待賈古書目50 (弘文荘)

辞典の辞典 佃実夫他編 (文和書房)

辞典・事典総合目録 '77 (出社ニュース社)

大阪府立中之島図書館増加図書目録 昭50

奈良県立奈良図書館蔵書目録 1-2

長澤文庫目録 (帝塚山大学図書館)

徳川家康公御貴品・文書目録 (日光東照宮)

名古屋市蓬左文庫古文書古絵図目録

(名古屋市教育委員会)

名古屋市蓬左文庫尾崎久弥コレクション

目録 1集 ( )

広文庫 1-20 物集高見他著 (名著普及会)

拾芥抄 (古辞書叢刊行会)

朝鮮大百科事典 2 (平壤、百科事典出版社)

A List of American doctoral

dissertations printed in 1912-1938. By  
Library of Congress. (Kraus Reprint)

Encyclopedia of library and information  
science. Vol. 17-20. Ed. by Allen Kent.

(Marcel Dekker)

Catalogue of the Nagasawa collection.

(Tezukayama University)

Great Soviet encyclopedia. Vol. 13.

(Macmillan)

Meyers grosses Konversations-

Lexikon, 6 Aufl. Bd. 1-12, 14-24.

(Bibliographisches Institut)

Meyers neues Lexikon. Bd. 14.

(VEB Bibliographisches Institut)

Encyklopedia powszechna PWN. Vol. 4.

(Panstwowe Wydawnictwo Naukowe)

Армянская Советская Энциклопедия,

Том 2.

(АН СССР)

Эольшая советская Энциклопедия,

Том 24, 26 (Советская Энциклопедия)

Советская Военная Энциклопедия, Том 2.

(Воениздат)

Ўзбек Совет энциклопедияси, Том, 7-8.

(Ўзбекистон ССР Фанлар Академияси)

#### ◇ 哲学 ◇

新版哲学小事典 小松攝郎著 (法律文化社)

教訓例話辞典 有原末吉著 (東京堂)

## ◇ 歴史 ◇

世界人名辞典 日本編 佐藤直助他編  
(東京堂)

〃 東洋編 河部利夫他編(〃)  
賞と記録の人名事典 増補版(自由国民社)  
An introductory bibliography for  
Japanese studies. Vol. 2, Pt. 1.  
(Japan Foundation)

The Times atlas of China. Ed:P.J.M.  
Geelan. (Times Books)

Dizionario biografico degli italiani.  
Tom. 18-19 (Enciclopedia Italiana)

## ◇ 社会科学 ◇

法学用語辞典 法学便覧編集部編(評論社)  
教育小六法 昭53年版 (学陽書房)  
新商事判例集 1-4 小町谷操三著(岩波)  
主要国際機関の概要 第9版  
(外務省国際連合局)

コメンタール国税通則法 1-2 中川一郎  
他編 (三晃社)

地域メッシュ統計地図 人口分布図、人口  
増減図 (総理府統計局)

史料教育法 神田修他編 (学陽書房)  
Dr. Gablers Wirtschafts-Lexikon. Bd.  
1-2. 9. Aifl.  
(Betriebswissenschaftlicher Verlag  
Gabler)

A new dictionary of economics. By  
Taylor, P.A.S. (Routledge)

Scientific research in British univers-  
ities and colleges, 1974-75 Vol. 1-2.  
(HMSO)

Депутаты Верховного Совета СССР;  
восьмю созыв. (Известия Советов  
Депутатов Трудящихся СССР)

## ◇ 自然科学 ◇

岩波生物学辞典 第2版 山田常雄他編  
(岩波)

Dictionary of scientific biography. Vol.  
14. (C. Scribner's)

## ◇ 工学・技術 ◇

公害関係法令解説集 続:公害国会成立法  
律の政省令特集 (帝国地方行政学会)

Encyclopedia of computer science and  
technology. Vol. 5. Ed.: J. Belzer.  
(Dekker)

Dictionary of data processing;  
including applications in industry,  
administration and business, by A.  
Wittmann. 2. ed. (Elsevier)

## ◇ 産 業 ◇

Handbook of marketing research, by  
Robert Ferber. (McGraw-Hill)

## ◇ 芸 術 ◇

レタリング字典 増補 日向数夫著  
(グラフィック社)

書体デザイン 桑山弥三郎著(〃)  
印刷ガイド 関善造著 (誠文堂新光社)  
東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵  
映画目録 I

保健体育行事事典 佐藤友久他編著  
(道和書院)

体育史資料年表 増補 今村嘉雄編(不味堂)  
レクリエーションハンドブック 三隅達郎  
他編 (国土社)

## ◇ 語 学 ◇

童蒙頌韻 三善為康著(古辞書叢刊刊行会)  
唐話辞書類集 1-18 古典研究会編  
(汲古書院)

瑣玉集 円一著 (古辞書叢刊刊行会)  
新選字鏡 昌住著 (〃)  
和玉編 (〃)

Sanskrit-Wörterbuch in Kürzerer  
Fassung, Bd. 1-3. By Otto von  
Böhtlingk. (Meicho-Fukyu-Kai)

A supplement to the Oxford English  
dictionary. Vol. 2. (Clarendon Pr.)

The great Polish-English dictionary.  
Vol. 1-2. By Jan Stanisawski.  
(Wiedza Powszechna)

Oxford Latin dictionary. Fasc. 5. Ed:  
P.G.W. Glare. (Clarendon Pr.)

Речник на българския език, Част 2.  
(Български Писател)

Словник Української мови, Том 6-7.  
(Наукова Думка)



